

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成22年4月22日(2010.4.22)

【公開番号】特開2007-302882(P2007-302882A)

【公開日】平成19年11月22日(2007.11.22)

【年通号数】公開・登録公報2007-045

【出願番号】特願2007-105060(P2007-105060)

【国際特許分類】

C 1 1 D 7/18 (2006.01)

A 6 1 M 1/14 (2006.01)

C 1 1 D 7/54 (2006.01)

C 1 1 D 7/14 (2006.01)

【F I】

C 1 1 D 7/18

A 6 1 M 1/14 5 6 9

C 1 1 D 7/54

C 1 1 D 7/14

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月4日(2010.3.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

過炭酸ナトリウム及び珪酸ナトリウムからなり、過炭酸ナトリウムの配合重量比率が珪酸ナトリウムに対し、0.1～1.3であることを特徴とする人工透析装置用洗浄剤。

【請求項 2】

珪酸ナトリウムがオルト珪酸ナトリウムであることを特徴とする請求項 1 記載の洗浄剤。

【請求項 3】

さらに、リン酸金属塩または有機キレート剤を含有することを特徴とする請求項 1 または 2 記載の洗浄剤。

【請求項 4】

有機キレート剤がアミノホスホン酸、アミノカルボン酸またはそれらの塩であることを特徴とする請求項 3 記載の洗浄剤。

【請求項 5】

過炭酸ナトリウムが、水への 30 秒後溶解率が 50 % 以上であることを特徴とする請求項 1～4 のいずれかに記載の洗浄剤。

【請求項 6】

過炭酸ナトリウム及び珪酸ナトリウムからなり、過炭酸ナトリウムの配合重量比率が珪酸ナトリウムに対し、0.1～1.3である人工透析装置用洗浄剤の 0.05～17 重量 % 水溶液を用いて、人工透析装置を洗浄する方法。